

# 学校ではどんな風に使っているの？

市立小・中学校では、導入したタブレット端末を活用して授業を行っています。今回、取材を行った御調中央小学校と瀬戸田中学校でも、さまざまな教科でタブレット端末が活用されていました。

## まずは端末に触れる経験から



小学校1年生の教室では、算数科の授業でタブレット端末を活用していました。子どもたちは電源を入れるところからスタートし、先生から配られたIDとパスワードでログインしていきます。まずは端末に触れる経験をし、操作ができるようになることを目指すところからスタートです。みんな楽しそうに画面をタッチしていました。

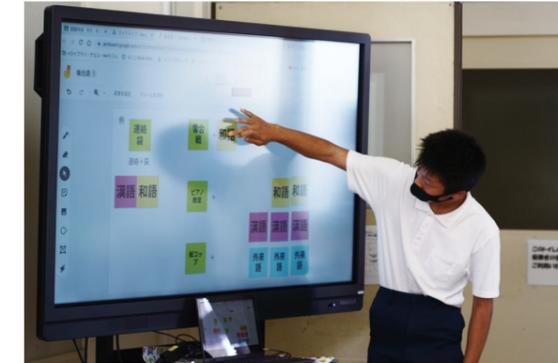
## 情報を集めてみんなで共有



小学校4年生の教室では、社会科の授業で調べ学習が行われていました。「私たちの県」をテーマに、尾道市以外の市町についてインターネットで調べ、調べたことをモニターやタブレット画面上で共有していました。

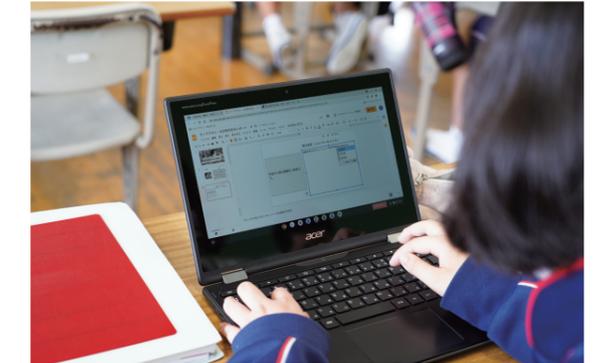
これからの情報化社会で不可欠な、「情報を調べる→取得する→どう使うか考える」という一連の力をつけることを目指しています。

## 学習の理解度を深める



小学校6年生は国語科の授業でした。複合語について特徴や構成を理解するにあたり、タブレットの画面にタッチすると一つのブロックを自在に動かすことができる「ジャムボード」という機能を使っていました。この機能を使い、さまざまな単語の成り立ちについて、どのグループに該当するのかを分類することができ、理解度を深めることに役立っていました。

## レポート作成にも挑戦



中学校では、社会科の授業で、先生から出された「大正時代の文化人」というテーマに沿って、一人ひとり興味のある人物についてインターネットで調べ、スライドを作成する、レポート課題に挑戦していました。

対象者を決めると、その人物について調べたことを簡潔にまとめたり、画像を探して工夫しながらシートに配置したりと、タブレット端末を自在に操作して課題に取り組んでいました。

## 休み時間には…

ひとたびチャイムが鳴ると、運動場に繰り出す子どもたち。元気いっぱい駆け回る姿は、どの時代も変わりませんね。



## 導入しているのは 幅広い学年で使える「クロームブック」

小・中学校で導入しているのは、Google(グーグル)のOSを搭載した「クロームブック」です。

キーボードだけでなく、タッチパネルでの手書き文字入力も可能で、ローマ字を習う前の小学校低学年も簡単に操作できるようになっています。

スライドやレポートの作成ができるソフトも入っており、小学生から中学生まで使いやすい端末です。



## VOICE



尾道市教育委員会  
スマートスクール担当主幹  
石本 美喜

## 未来を生きる力を養う教育に

1人1台のタブレット端末を使う「スマートスクール」では、将来子どもたちにとって不可欠な、デジタル社会で生きる力をつけることを目指しています。

一人ひとりに合った個別の学習機会を提供し、多様な児童・生徒に対応した教育を行うことで、子どもたちの可能性を開くことができると考えています。

これまでの、確かな学力や豊かな心、健やかな体を育む教育実践の積み重ねとともに、最先端のICT教育をバランスよく取り入れ、グローバル社会を生き抜く子どもの育成を目指して取り組んでいきます。

## 保護者の皆さんへお願い



市立小・中学校では現在、家庭へのタブレット端末の持ち帰りの準備を進めており、家庭でもタブレットを使った学習ができるよう予定しています。

各ご家庭でも、端末を大切に扱うよう、ご指導をお願いします。

また、インターネットを活用することにより飛躍的に用途が広がりますので、家庭内でのWi-Fi環境の整備についてもご協力をお願いします。

※スマートシティ事業により、来年3月までに、市内全域での光ファイバー回線の整備が完了する予定です。

